

自動猫トイレ CATLNK SCOOPER

SE / SE Lite

本体用説明書 Ver2025.4

本誌は本体用の説明書です。アプリのアカウント作成や本体との接続方法に関しては、別紙の「アプリ共有部分用説明書」を御覧ください。

- 使用上の重要な情報が書かれています。ご使用前に説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

「自動猫トイレ」は「何もしなくていいトイレ」ではありません

- 本製品は「固まった猫砂(排泄物)をトイレから掬い上げる」作業を自動化したトイレです。その他の作業(排泄物の処分、清掃など)は定期的に行ってください。

アプリ接続を行った際は必ずタイムゾーンの確認をしてください

- タイムゾーンの変更を行うと、動作やトイレの記録が初期化されてしまいます。アプリ接続後は必ずタイムゾーンの設定を確認してください。※16 ページ参照

● 梱包内容物



- ①本体：1 台
- ②電源アダプター：1 個
- ③専用デオドライザー：1 個
※SE Lite は別売りです。
- ④専用替えライナー：1 巻 (20 枚)
- ⑤メッシュプレート：
SE：オレンジ / 水色が各 1 枚ずつ
SE Lite：水色 1 枚のみ
- ⑥ドームマット（装着済み）：1 枚

目次

1ページ	安全上の警告と注意
2ページ	使用時の注意
3ページ	各部の名称
4ページ	インジケーターの表示
5ページ	本体の設置
6ページ	専用デオドライザーの取り付け
7ページ	電源のオン/オフ
8ページ	専用ライナーの交換方法
9ページ	使用できる猫砂について
10ページ	猫砂を入れる/追加する
11ページ	猫砂を排出する
12ページ	各モードの説明
13ページ	本体のボタン操作
14ページ	オートモードについて
16ページ	アプリで行える設定
17ページ	アプリ画面について
18ページ	アプリで行える操作
19ページ	オートモードに関する設定
20ページ	タイマーモードに関する設定
22ページ	デバイス設定画面
24ページ	設定画面
25ページ	接続の解除
26ページ	再接続の設定
27ページ	ドームを外す
28ページ	ドームを取り付ける
29ページ	お手入れについて
30ページ	安全装置・その他センサー
32ページ	重量補正の方法
33ページ	製品情報/問い合わせについて
34ページ	消臭ジェルについて

思わぬ怪我や家財への損害、火災や感電を防止するために必ず以下の点をお守りください。

- 本製品は猫用トイレです。本来の用途以外に使用しないでください。
- 本製品は屋内の家庭用としての使用を目的としています。屋外や商業用または工業用として使用しないでください。
- 本製品は留守中のペットの世話と安全・健康を保証するものではありません。旅行などで長期間家を留守にする場合は必ずペットホテルを利用したり、知人に世話を頼むなどしてください。
- 本製品をお子様や、身体・思考能力が著しく低下している方が単独で使用することは危険ですのでお止めください。
- 使用する際は安全に使用できる環境下かつ、製品の安全な使用方法と危険性を理解している方の指示監督のもとで使用し、お子様のみでのお掃除やお手入れは危険ですので絶対に行わないでください。
- お子様が居る場所で使用する際は十分注意してください。また、お子様が本製品で遊ばないように注意してください。
- 濡れた手で電源アダプターや本製品を触ったり、操作したりしないでください。
- 屋外や浴室など湿気の多い場所や水に濡れる場所での使用、保管はお止めください。
- 回転中のドームや、ドームとドームカバーの隙間に指や手を触れないでください。
- 本製品が上手く機能しない場合、破損した場合、屋外に放置したり液体に浸してしまった場合は使用せずに必ずご連絡ください。
- 製品を分解しないでください。間違った組み立て方をすると感電や火災につながる恐れがあります。
- 電源アダプターや電源コードが破損した状態で本製品を使用しないでください。
- 電源コードを引っ張ったり、上に重たいものを乗せないでください。また、コードを挟んでドアを閉めたり、先端が鋭利なものや角のまわりで電源コードを引っ張らないでください。
- 延長コードを介しての使用は推奨しません。また、タコ足配線はお止めください。
- 長期間使用しない場合や、本体の掃除を行う時は必ず電源アダプターをコンセントから抜いてください。
- 火気や熱源の近くで使用したり、保管しないでください。
- 故障の原因となりますので、定期的に掃除を行なってください。汚れたまま使用すると故障や破損の原因となります。

- カーペットやマットの上に置かないでください。 -

SCOOPER SE は底部のセンサーで重量を感知しています。カーペットなど柔らかい床の上に置くと正しく重量が計測できませんので、必ず固く平らな床の上に置いてください。

- アプリ接続後は必ずタイムゾーンの設定を行ってください。※16 ページ参照 -

タイムゾーンを変更すると各種記録が初期化されます。アプリ接続後は必ず最初にタイムゾーンの設定を行ってください。(タイムゾーンが正しく設定されていないとタイマーモードで設定した時刻と異なる時刻に動作したりする原因となります)

- 安全装置を過信しないでください -

SCOOPER SE / SE Lite には、ドーム回転中に猫が入った場合に動作を停止させる安全装置が備わっていますが、確実に事故を防ぐことを保証しているものではありません。装置を過信せずに常に安全に注意して使用してください。

- 長期間留守にしないでください -

旅行などで家を長期間留守にする場合はペットホテルを利用したり、ご家族や友人に世話を頼むなどしてください。

- 体重の計測には誤差が生じる場合があります -

SCOOPER SE はドームに入った猫の体重を測定し「誰が入ったか」を判断しますが、0.2kg ほどの誤差が生じる事があります。その為、体重が近い猫情報が登録されていると正しく判別できない場合がありますので予めご了承ください。

- こまめに掃除してください -

故障の原因のほとんどが、製品が汚れたまま使用したことによるものです。ライナー（袋）に集められた固まった猫砂は、こまめに処分してください。また、必ず定期的に掃除をしてください。

- 万が一のために予備のトイレをご用意ください -

本製品は機械ですので修理が必要になる場合があります。修理中の代替りのトイレは必ずお客様ご自身で準備をお願いします。弊社が実施している 12 ヶ月の無償修理保証は、修理中のトイレの都合やペットの世話を補償するものではありませんの予めご了承ください。

- なるべく箱は捨てずに残しておいてください -

修理の際は弊社へ本製品を発送して頂く必要があります。その際の梱包費用は無償修理保証の有無に関わらずお客様負担となります。比較的大きな梱包資材が必要になりますので出来るだけ発送時の箱を残しておくことを推奨しています。

- 無理に使用させないでください -

トレー型のトイレに比べ、本製品は見た目も大きさも全く異なります。猫が興味を示す反面、緊張し不安に感じる事もあります。すぐにトイレをしないからといって、無理にドームへ入れようとする事は絶対にお止めください。

前側



うしろ側



左カバーの内側



操作ボタン



インジケータの種類



① チャイルドロックの状態

点灯：オン
消灯：オフ

② Wi-Fi 接続の状態

点灯：接続されています
消灯：接続されていません
点滅：接続設定中です

③ 砂排出モードの状態

点灯：オン
消灯：オフ

④ 安全装置の状態

下記参照

⑤ 現在のモード※いずれかが点灯します

時計のマーク：タイマーモード
猫の：オートモード
手のマーク：マニュアルモード

安全装置（シールドマーク）の状態



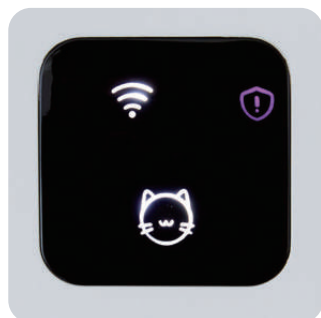
● 青色のマーク

点灯：赤外線センサーが反応し、動作を停止しています。
点滅：重量補正中です。



● 青と赤が交互に点滅している

排泄物コンテナが満杯になっています。



● むらさき色のマーク

1秒に1回の点滅：サイドカバーが外れています。
もっとゆっくりした点滅：モーターに異常があり停止しました。

1 緩衝材を取る

本体の青いテープとドーム周辺の緩衝材シートを全て外してください。



2 設置する時の注意

設置する時は下記のように注意してください。



本体が傾いて設置されている。



壁や家具に近すぎる。
(5cm 以上は離してください)



入口付近に観葉植物などがある。



本体の下にラグやマットを敷いている。

- SE Lite に専用デオドライザーは付属していません。※別途購入しての取り付けは可能です。
- 交換時期の目安はおよそ2ヶ月（60日）です。
- 交換の際は「CATLINK SCOOPER SE 専用デオドライザー」をお買い求めください。

1 ノブを引き抜く

ドーム側面のノブを引き抜きます。



2 デオドライザーをつける

専用デオドライザーをノブの内側に差し込んで方向に回して固定します。



3 活性剤を入れる

デオドライザーのフタをめくり、活性剤を入れます。
※一本全て入れてください。



4 ノブを戻す

ノブを元の位置に差し込みます。
※ノブを下に向けると活性剤が溢れるので注意してください。



- 本製品には電源ボタンがありません。
- 電源コード、電源アダプターの抜き差しは**絶対に濡れた手で行わないで**ください。感電や火災の原因となります。

1 電源アダプターを挿す

本体に電源アダプターを差し込みます。



2 電源をオンにする時

電源アダプターをコンセントに差し込みむと電源が入ります。



3 電源をオフにする時

電源アダプターをコンセントから抜くと電源がオフになります。



1



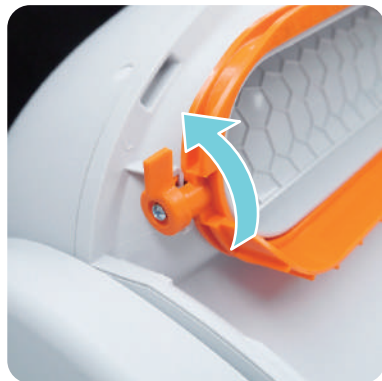
清掃ボタンを3秒長押しすると、ドームがライナー交換位置に移動します。

2



ドームが停止したら、排泄物コンテナのカバーのハンドルを押しながら開

3



左右のツマミを上げて、フレームを取り外します。
※説明のためライナーは

4



矢印がフチにくる
ぐらいの所で折り返す

ライナーをフレームの内側からくぐらせ、端を外側へ折り返します。

5



フチが広いほうが下側

フレームを取り付けます。
※上下の向きに注意してください。

6



左右のツマミを下げて固定します。

7



カバーの端を押さえるようにしっかり閉じて完了です。※ライナーがはみ出さないよう注意。

8



清掃ボタンを3秒長押しすると、ドームが待機位置へ戻ります。

専用ライナーはこまめに交換するようにしてください。むやみに排泄物を溜め込むと故障や著しい製品寿命の低下の原因となります。

- 必ず固まるタイプの猫砂を使用してください。※できるだけ粒は小さい方が良いです。
- 鉱物系、穀物系、おから系の中粒（砂状で大きさが 6mm 程度）の猫砂が使用できます。
- 粒がペレット状の場合は「太さ 2mm×長さ 10mm 程度」までの大きさが使用できます。
- 異なる材質の猫砂を混ぜて使用もできますが、固まるまでの時間が著しく異なる猫砂は混ぜないでください。
- 木製、紙製の猫砂は使用できません。※混ぜての使用もできません。

	鉱物 （ベントナイト）	おから	穀物 （デンプン）	木・紙・シリカゲル
使える砂	砂状の場合：6mm 程度まで ペレット状の場合：太さ 2mm 長さ 10mm 程度まで			なし
使えない砂	上記以外の大きさ または、固まらないタイプの砂			すべて ※他との混合も不可

メッシュプレートについて

- メッシュプレートは「粗目（オレンジ色）」と「細目（水色）」の 2 種類があります。
※SE Lite に付属しているのは細目のみです。
- 使用する猫砂の粒が大きめの場合やペレット状の場合、または猫砂の素材が「おから」「Mix 砂」の場合は「粗目（オレンジ色）」のメッシュプレートを使用してください。
- 使用する猫砂が鉱石系で粒の大きさが小さい場合は「細目（水色）」のメッシュプレートが使用できます。 ※粗目（オレンジ色）のメッシュプレートでの使用もできます。

QR コード

『メッシュプレートの付け外し方（メーカー公式動画）』

<https://www.youtube.com/watch?v=zQ249UecNvo>



1 猫砂追加ボタンを押す

猫砂を入れる時は**必ず猫砂追加ボタンを押してから入れてください。**

(増えた重さが猫砂であることを認識させる為)



2 猫砂を入れる

ボタンを押すとドームの入口が上を向いて止まるので、猫砂を入れます。

目安：4 リットルぐらい



3 再度猫砂追加ボタンを押す

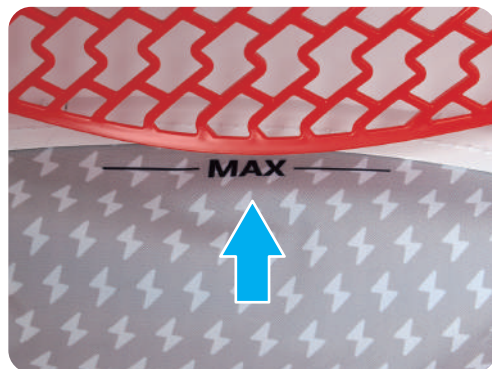
砂を入れ終わったら、もう一度猫砂追加ボタンを押してください。ドームが待機位置へ戻ります。

※万が一猫砂追加ボタンを押さずに砂を入れた時は手動で自動清掃を行ってください。



4 猫砂の入れすぎに注意

猫砂がドーム内の「MAX」の線を超えないように注意してください。



- 猫砂を排泄物コンテナへ排出します。
- 構造上、ある程度の猫砂がドームに残ってしまいます。あらかじめご了承ください。

1 ノブを奥へ回す

ノブを奥側へ回します。ドーム内のフラップが閉じるので確認してください。



2 猫砂追加ボタンを長押しする

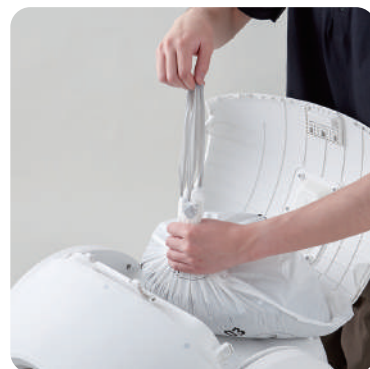
猫砂追加ボタンを 3 秒以上長押しすると排出が始まります。アプリ操作の場合は「エンプティ」をタップしてください。



アプリの場合

3 ライナーを交換する

排泄物コンテナに猫砂が排出されているのでライナーを交換します。 ※外す時に砂がこぼれないよう注意してください。
※交換方法は 8 ページ参照。



4 ノブを手前へ回す

ノブを手前側に回してください。
※猫砂排出モードのままだと自動清掃が行われなくなります。



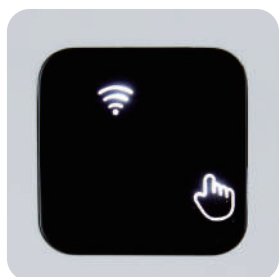
各モードに対応したランプがインジケータに表示されます。

※タイマーモードは Wi-Fi 接続時のみ選択できます。



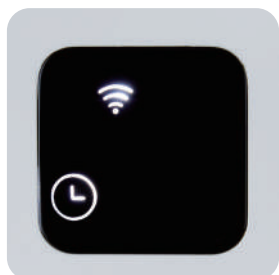
オートモード（猫のマーク）

猫がトイレをした後、一定時間が経過すると自動清掃を行うモードです。
重さを感じて判断するので猫に **1.5kg 以上の体重が必要**です。



マニュアルモード（手のマーク）

本体のボタン、またはアプリ操作によってのみ自動清掃を行うモードです。
トイレ後の自動清掃は行いません。



タイマーモード（時計のマーク）

設定した時刻のみ自動清掃を行うモードです。Wi-Fi に接続している場合しか
選択できません。タイマーモード中に Wi-Fi 接続が切れた場合はオートモード
に切り替わります。

自動清掃を行う

1

清掃ボタンを押すと、ビープ音が1回鳴って自動清掃が行われます。
現在のモードに関わらずいつでも行うことができます。



チャイルドロックのオン / オフ切り替え

●チャイルドロックがオンの時は、本体のボタン操作ができなくなります。
※アプリからの操作はできます。

1

ボタンを同時に長押し

清掃ボタンと猫砂追加ボタンを同時に3秒以上長押しすると、ビープ音が2回鳴ってチャイルドロックのオンとオフを切り替えられます。



2

インジケータのランプ

チャイルドロックがオンの時は、インジケータに鍵マークが点灯します。



オートモード時の動作

猫がトイレをしてドームから出た後、一定時間経過後に自動清掃を行います。



猫が出て...



一定時間待機



自動清掃

《一定時間待機中に再度トイレに来た場合は？》

- 再度ドームを出た時から待機時間の計算がやり直されます。

《自動清掃中に猫がドームに入ろうとした場合は？》

- 入口付近の赤外線センサーが反応して動作を停止します。そのままドームに入ってしまった場合でも重量を感知している間は動作が再開されません。

《自動清掃が始まるまでの時間を変更したい》

- 変更にはアプリによる操作が必要になります。

- SCOOPER SEは専用アプリと接続して、アプリでの本体操作・猫のトイレ状況などの記録や確認を行うことができます。
- 接続設定や猫情報の登録などについては「アプリケーション共通部分用説明書」を参照してください。

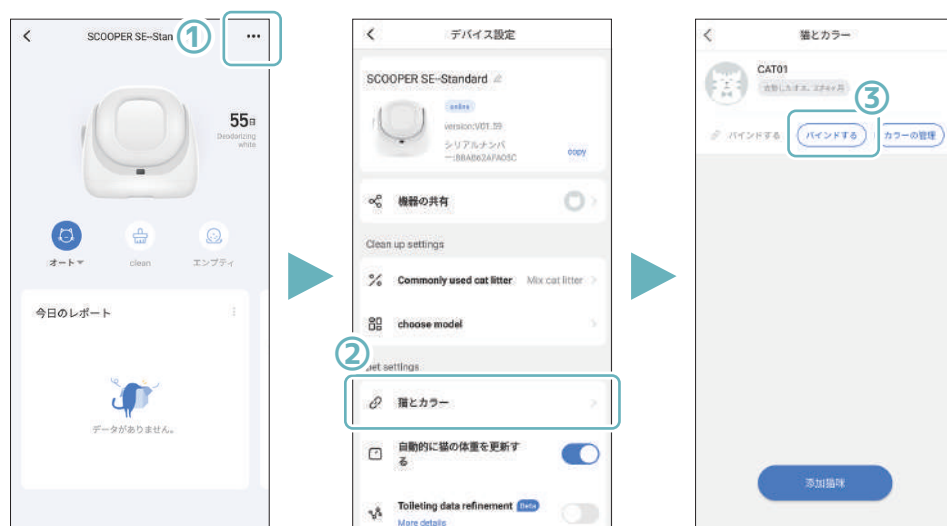
- 専用アプリのダウンロード
- 本体とアプリの接続（Wi-Fi 接続）
- 猫情報の登録
- 共有設定

「アプリケーション共通部分用説明書」
をご覧ください。

登録した猫情報とデバイス（本体）との関連付けについて

- 猫情報を登録していてもデバイスとの関連付けが行われていないと記録が残されません。
- 基本的には猫情報の登録時に関連付けも一緒に行いますが、設定をしていなかった場合、うまく出来ていなかった場合などは以下を参考に関連付けを行ってください。

アプリ画面右上の...マーク→「猫とカラー」→関連付けをしたい猫情報の「バインドする」をタップして設定完了です。



複数の猫情報を関連付けできるのはSEのみになります。SE Liteで他の猫情報を関連付けたい場合は、現在関連付けされている情報を解除してください。

使用する猫砂の種類の設定

- 使用する猫砂の種類を設定します。
- おからや穀物の猫砂を使用する時は Mix 砂の設定にしてください。

アプリ画面右上の...マーク→「Commonly used cat litter」をタップした後、使用する猫砂の種類をタップして設定完了です。



- タイムゾーンの設定を正しくしていない場合、タイマーモードなどで設定した時間に自動清掃が行われません。
- タイムゾーンを変更するとそれまでの動作記録などが初期化されるのでご注意ください。**

アプリ画面右上の...マーク→「設定」→「デバイスのタイムゾーン」をタップして、「Tokyo」を選択してください。 ※検索欄に「tokyo」と入れるとすぐに見つかります。





① 「戻るボタン」

② 「デバイスの名前」

※デバイス設定で変更できます。

③ 「デバイス設定」

デバイス設定画面を開きます。

④ 「デオドライザー交換時期」

専用消臭剤の交換時期までの日数。

⑤ 「現在のモード」

⑥ 「自動清掃開始ボタン」

⑦ 「エンプティボタン」

⑧ 「今日のレポート」

本日のトイレに関する記録が表示されます。
左にスワイプするとヘルスデータ画面(下図)が表示されます。

⑨ 「レポート詳細」

タップしてレポートの詳細を確認できます

⑩ 「猫の名前」

複数関連付けしている場合は上に表示されている名前をタップして切り替えができます。
※複数の関連付けはSEだけの機能です。

⑪ 「トイレ状況の詳細」

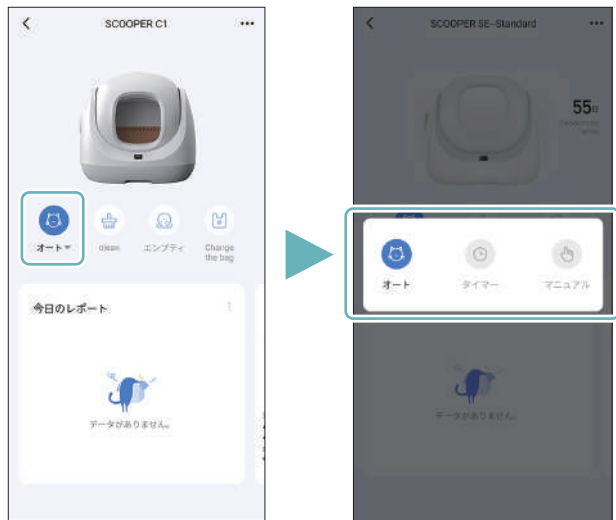
体重の変化、トイレ回数、トイレの所要時間が表示されます。

⑫ 「トイレ詳細」

タップするとトイレ回数などの詳細が表示されます。日ごと、週ごと、月ごとの情報も確認できます。

18 アプリで行える操作

モードの変更



現在のモードのマークをタップして、切り替えたいモードを選択します。

自動清掃を行う



清掃ボタンを押すと、ビープ音が1回鳴って自動清掃が行われます。現在のモードに関わらずいつでも行うことができます。

猫砂の排出を行う



「エンプティ」を押すと猫砂の全排出が行われます。詳しくはページを参照してください。

ライナー交換モードへ変更



「Change the bag」を押すと、ライナー交換位置にドームが移動します。ライナーの交換が完了したらもう一度押して、ドームを待機位置に戻してください。

19 オートモードに関する設定

- オートモード時にのみ適用される設定の変更方法です。
- 設定の変更にはアプリ接続が必要になります。

1 自動清掃が始まるまでの待機時間の設定

アプリ画面右上の...マーク→「choose model」→「オート」の下「自動清掃までの時間」をタップした後、好みの時間をタップして設定完了です。



2 スリープモードの設定

アプリ画面右上の...マーク→「choose model」→「オート」の下「スリープモード」→「オン」をタップした後開始時刻と終了時刻を設定→右上の「保存」をタップして完了です。



- タイムゾーンが正しく設定されていないと設定した時刻に自動清掃が始まりません。
- タイマー時刻は最大 8 個（10 分刻み）まで設定できます。

1 タイマー時刻の設定

アプリ画面右上の...マーク→「choose model」→「タイマー」の下「タイマーの時間設定を追加」をタップした後時刻を選択→右上の漢字をタップして完了です。



2 設定したタイマー時刻のオン / オフ

タイマー時刻横のスイッチマークをタップして設定した時刻のオン / オフを個別に設定できます。



3 設定した時刻の削除

タイマー時刻の設定画面で削除したい時刻を左にスライド→「削除」をタップして削除できます。

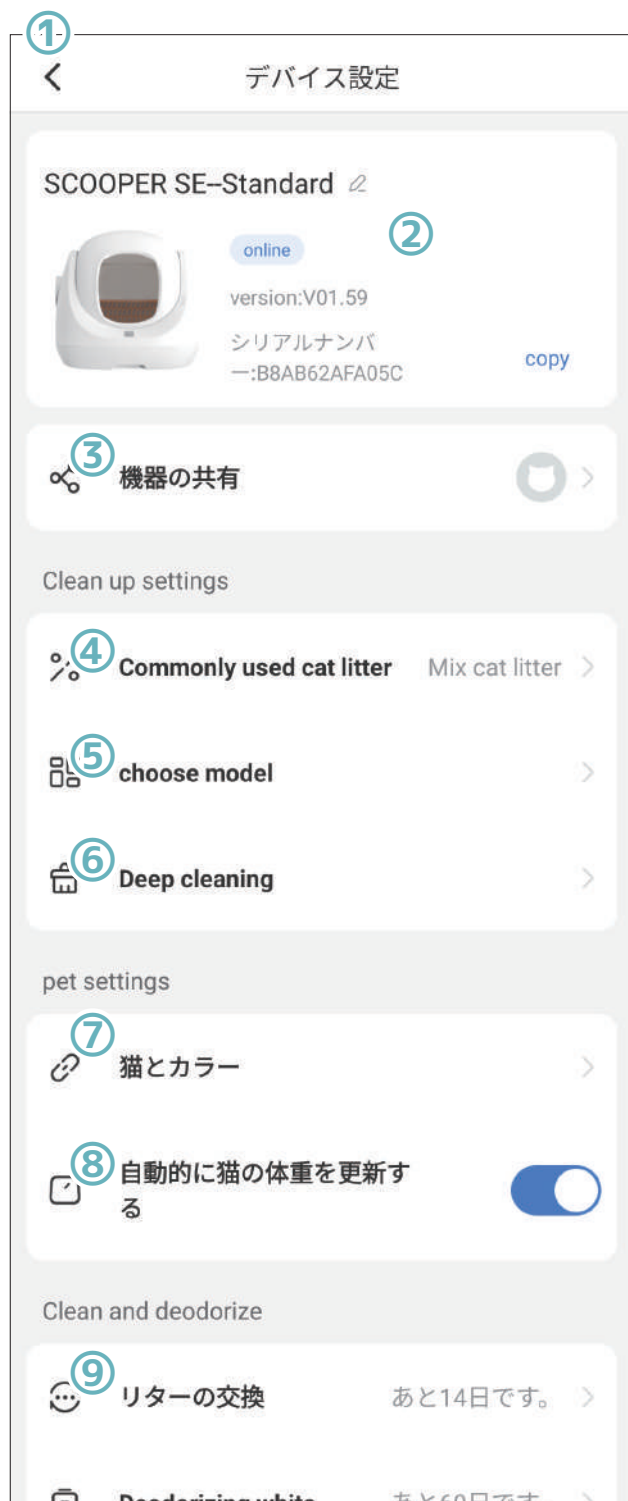


《タイマーモード中に Wi-Fi 接続が切れた場合は？》

- Wi-Fi 接続が切れた場合はタイマーモードは使用できません。自動的にオートモードへ切り替わります。

《設定した時刻と異なる時間に自動清掃が始まる》

- タイムゾーンが正しく設定されていないと時差により、設定した時刻通りに自動清掃が始まりません。タイムゾーンの設定を確認してください。



① 「戻るボタン」

② 「デバイスの詳細」

デバイス名やシリアルナンバーなどが表示されます。デバイス名をタップすると名前を変更できます

③ 「機器の共有」

共有設定が出来ます。詳細はアプリ共通部分説明書をご確認ください。

④ 「Commonly used cat litter」

使用する猫砂の種類の設定が行なえます。
※16 ページ参照

⑤ 「choose model」

各モードに関する設定が行なえます。

⑥ 「Deep cleaning」

現在は未対応の機能です。

⑦ 「猫とカラー」

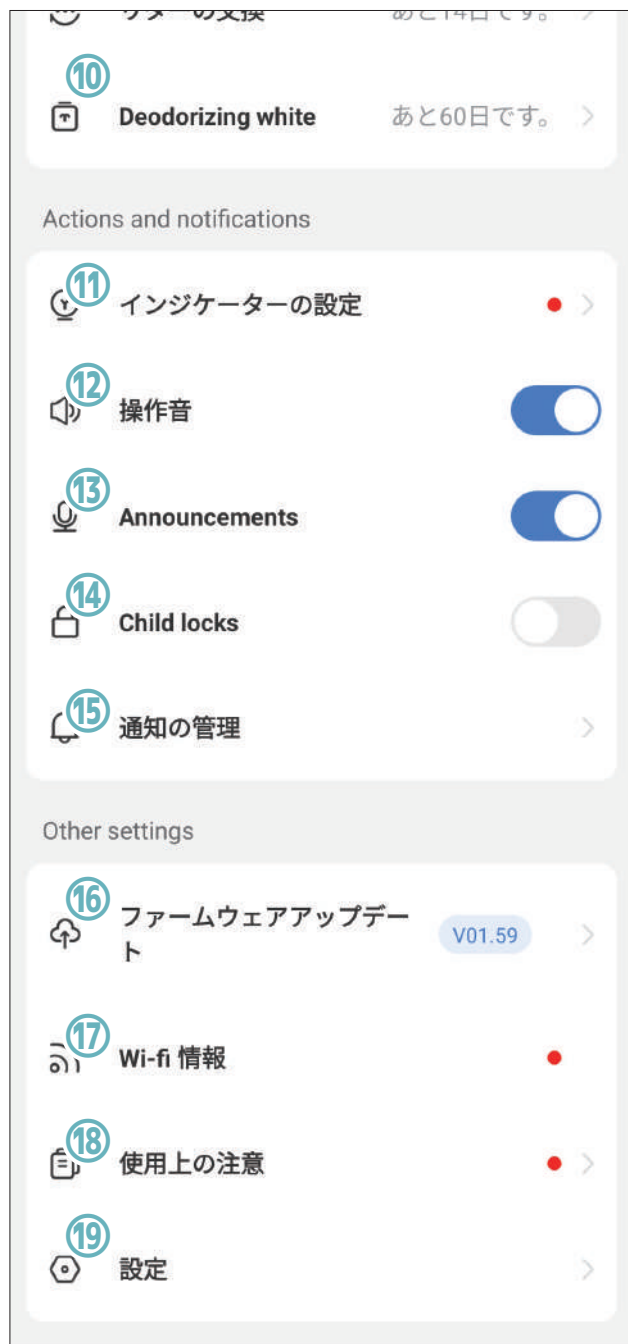
登録した猫情報との関連付け設定が行なえます。※15 ページ参照

⑧ 「自動的に猫の体重を更新する」

チェックをオンにすると、登録された猫の体重を計測時の体重に自動更新します。

⑨ 「リターの交換」

猫砂の全交換時期の目安を表示します。タップすると時期をリセットできます。
※期間は 14 日のみです。

**⑩ 「Deodorizing white」**

専用デオドラライザーの交換時期を表示します。タップすると時期をリセットできます。
※期間は 60 日のみです。

⑪ 「インジケータの設定」

インジケータの点灯、消灯を設定できます。

⑫ 「操作音」

操作時のビープ音のオン / オフを設定できます。

⑬ 「Announcements」

現在は未対応の機能です。

⑭ 「Child locks」

チャイルドロックのオン / オフを設定できます。

⑮ 「通知の管理」

通知内容の設定ができます。

⑯ 「ファームウェアのアップデート」

現在のファームウェアの確認とアップデートの有無・実行ができます。

⑰ 「Wi-Fi 情報」

接続中の Wi-Fi の情報が確認できます。

⑱ 「使用上の注意」

※表示されません。

⑲ 「設定」

タームゾーンの設定、重量補正、統計データのリセット、デバイスの削除（接続解除）が行えます。



① 「戻るボタン」

② 「デバイスのタイムゾーン」

タイムゾーンを設定します。※00 ページ参照
タイムゾーンを変更すると動作ログなどの記録が消えるので注意してください。

③ 「Weighing calibration」

重量補正を行います。ここから行くと精度が悪いので、重量補正は本体のボタン操作から行ってください。※32 ページ参照

④ 「box full detection sensitivity」

排泄物コンテナが満杯かどうかを感知するセンサーの感度を調節できます。MIX やおからなど軽い猫砂を使用する場合は感度を高めに設定してください。

⑤ 「統計データのリセット」

今までのトイレなどのデータを消去します。

⑥ 「デバイスの削除」

デバイスのアプリ接続、Wi-Fi 接続を解除します。

●接続の解除には「アプリ接続のみの解除」「アプリ接続と Wi-Fi 接続の解除」の2種類あります。

1 アプリ接続のみを解除する（バインド解除）

●Wi-Fi には接続したままアプリ接続のみを解除します。トイレ回数や動作記録は残るので再接続すると確認できます。

●マイデバイス画面のデバイス名右の...マーク→「バインド解除」→「確認」をタップして設定完了です。



2 アプリ接続と Wi-Fi 接続を解除する（デバイスの削除）

●Wi-Fi 接続とアプリ接続の両方を解除します。**トイレ回数や動作記録も削除される**ので、ご注意ください。

●アプリ画面右上の...マーク→「設定」→下の「デバイスの削除」→「確認」をタップします。



- アプリ接続のみを解除した場合（バインド解除）や、何らかの原因で Wi-Fi 接続のみが切れてしまった場合の再接続設定の方法です。
- 接続設定の詳細はアプリ共通部分用説明書を参照してください。

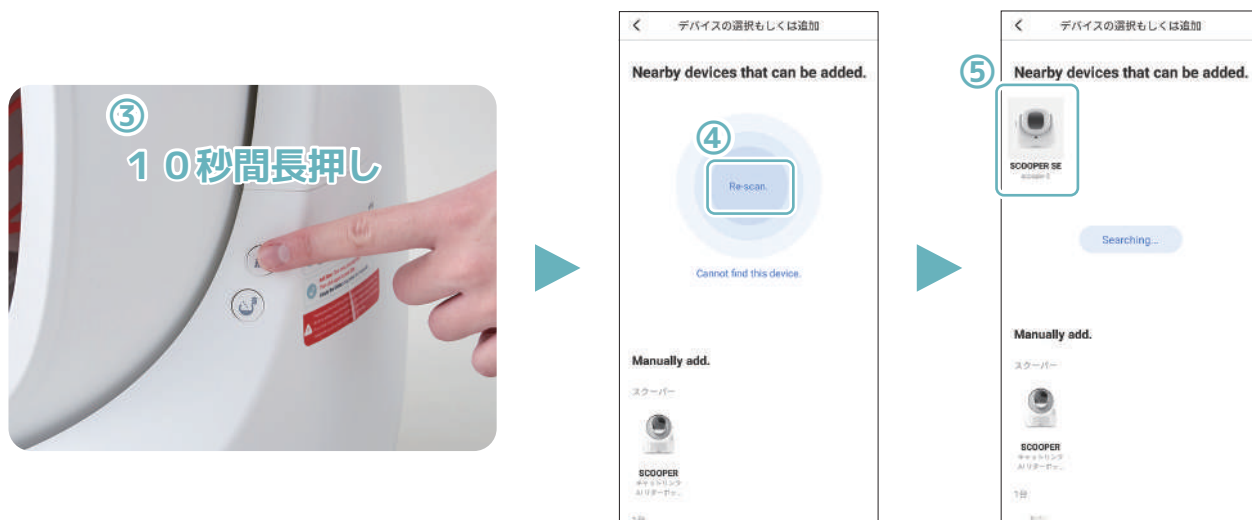
1

- マイデバイス画面右上の青い + マークをタップ→本体の検索が始まりますが、既に Wi-Fi 接続されているので検出に失敗するはずです。



2

- 本体の清掃ボタンを 10 秒長押しします。(3 秒ぐらいでビープ音が 2 回、10 秒ぐらいでビープ音が 2 回鳴ります)
- 本体が Wi-Fi 接続設定モードになるのでアプリの「Re scan」をタップすると検出されます。
- 表示された SCOOPER SE のアイコンをタップします。



1 猫砂追加ボタンを押す

両側のサイドカバーを外します。



2 ノブを奥へ回す

ドーム固定アームのツマミを内側に寄せながら上げます。



3 ドームを外す

ドームを取り外します。



1 ドームを乗せる

ドームを乗せます。



2 固定アームを下ろす

ドーム固定アームのツマミを内側に寄せながら、アームを下ろします。



3 ツマミの確認

※ツメが引っかかり、しっかりとロックされていることを確認します。正しく引っかかっていないと、サイドカバーが取り付けられません。



4 サイドカバーを取り付ける

サイドカバーを取り付けて完了です。



1 普段のお手入れ

- 排泄物コンテナのライナーはこまめに交換してください。
- 表面の汚れは乾いた布巾、または固く絞った布巾で拭き取ってください。
- こびりついた猫砂は取り除いてください。放置すると故障や製品寿命の著しい低下の原因となります。

2 水洗い可能な部分

- ノブ ●ライナーのフレーム
- サイドカバー ●ドームマット

以上のパーツは水洗いが可能です。

水洗いをした後は水気を拭き取りしっかり乾燥させてください。

水気が残っているとサビなどの原因になります。



3 水洗いできない部分

ドームはノブ内にネジと磁石が、土台は電子部品が内蔵されているので、水洗いしないでください。汚れがひどい場合は固く絞った布巾で表面を拭いてください。



4 ドームマットについて

ドームマットは付け外しが可能ですが、手前側を持って **V 字に折り曲げるようにして寄せるとマットのフレームが割れる**ので注意してください。



- ドームの回転中に各センサーに反応があった場合、動作を停止します。
- 安全装置は絶対ではないので過信せず、動作中の本体にはむやみに近づかないでください。

1 赤外線センサー

- 猫が回転中のドームに近づくと赤外線センサーが反応し動作を停止します。反応がなくなってから8秒ほどで動作を再開します。
- 人や物にも反応するのでドームが回転中はむやみに近づかないでください。



赤外線センサー



アプリでの表示



停止中は青色のシールドマークが点灯します。

2 重量センサー

- 動作中に荷重を感知すると動作を停止します。反応がなくなってから8秒ほどで動作を再開します。
 - 本体全体への荷重を感知するので、ドームに直接猫が乗った場合も反応します。
- ※1.5kg 未満の体重には反応しないのでご注意ください。



アプリでの表示



3 排泄物コンテナのセンサー

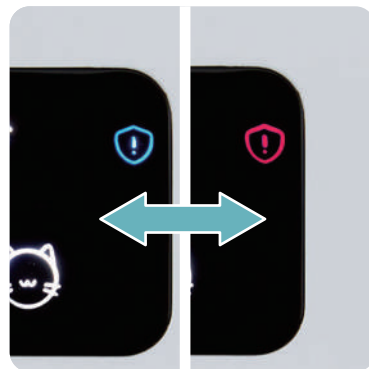
- コンテナが満杯になるとセンサーが反応しシールドマークが赤と青に交互に点滅します。
- 満杯になっても自動清掃は行われるので注意してください。**
- コンテナを空にしてから自動清掃が行われると解除されます。



コンテナセンサー



アプリでの表示



停止中はシールドマークが赤と青に交互に点滅します。

4 サイドカバーのセンサー

- ドーム左右のカバーが外れているとセンサーが反応し、紫のシールドマークが1秒に1回の間隔で点滅します。**この間は自動清掃を行うことができません。**
- カバーを正しく取り付けると解除されます。



サイドカバーセンサー
※内蔵されているので外からは見えません。



アプリでの表示



停止中は紫色のシールドマークが1秒に1回の間隔で点滅します。

1



1.5kg の重りを用意してください。(500ml ペットボトル3本など)

2



必ず正確に 1.5kg を用意してください。

3



あらかじめドーム、排泄物コンテナを空にしておきます。

4



一旦電源を切り、再度電源を入れてください。

5



猫砂追加ボタンをピープ音が2回鳴った後もう2回なるまで長押しします。(10秒ほど長押し)

6



ボタンを離すと青いシールドマークが点滅します。

7



重りをドーム内に静かに入れてください

8



ピープ音が1回鳴った後、青いシールドマークが点灯したら重りを取り出してください。

9



重量補正は完了です。

製品情報

製品の外観、および仕様は予告無く変更する場合がございます。

外寸(約): 幅 59.9× 奥 53.3× 高 54.4cm

重量(約): 11kg

主な材質: ポリプロピレン

生産国: 中国

メーカー: Shanghai Catlink intelligence co.ltd (中国)

お問い合わせについて

- お問い合わせの詳細については別紙の「お問い合わせについて」をご覧ください。
- Wi-Fi 環境やルーターの設定、スマートフォンの設定・操作等に関するご質問にはお答えできかねます。ご利用の Wi-Fi ルーターのメーカーや携帯電話会社へお問い合わせ願います。
- ご契約のプロバイダーのセキュリティレベルが高く設定され、外部からの通信を許可しない設定になっていると、接続設定がうまくいかない場合があります。
- 設定内容の確認・変更方法はご契約のプロバイダーへお問合せください。
- 修理・返品に関するお問い合わせ時には、いくつか確認作業をお願いする場合があります。これらにご協力いただけない場合は、その後の対応はいたしかねます。

- 2025 年 4 月以降の出荷分から、新たに消臭ジェルが付属するようになりました。(SE のみ)
- コンテナの内側に貼り付けてご使用ください。

1 消臭ジェル

青い袋に梱包されています。

※SE のみ。2025 年 4 月以降の出荷分から。



2 ジェルの取り付け

コンテナ内側の向かって左側の平坦な場所に貼り付けてください。※消臭ジェルの向きに注意してください。



3 位置にも注意してください。

フタの突起を避けるように、端と消臭ジェルの間に少し隙間を開けておいてください。

